
ざわざわぶっつん

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ざわざわぶつつん

【Nコード】

N7543D

【作者名】

蒼山

【あらすじ】

昼寝をした「俺」が見た奇妙な夢の奇妙な話……。

なんというか、とにかく眠い。
いきなり眠気が襲ってきた。

ナルコレプシーでは……と思ったが、きっと昨日よく寝てなかったせいだろう。

明日から期末試験なのだが……。

まあいいさ。何とかなる……状況ではないけど、何とかなるだろう。そんなどうしようもないことを考えながら、俺はベッドにもぐりこんだ。

なぜかうつ伏せで寝たい気分だったので、うつ伏せに寝た。
俺はつかの間まどろみ、そして眠りに落ちた。

……なんだ？

金縛りに遭っているような気がした。
動けないのだ。

頭にはテレビの砂嵐の映像が流れている。そしてザーっというノイズが聞こえる。

視覚でものを見ているという感覚はない。

ノイズに混じって、声が聞こえた。

低い声で、何か囁いている。

いや、囁いているのかどうかはハッキリとはわからない。

数多の蟲が、地を這っているような、ざわざわとした音だ。

その音が、時折低い音になったり高い音になったりしている。

俺には何か囁いているように思えた。

何て言ってるんだ？

……おまえじゃねえよ

何がだ？

……おまえがだよ

意味が分からないな。

……わかってるはずだ

知らない。

……ぎりぎりまで行つては引き返し、ぎりぎりまで行つては連れ戻されて、繰り返しうちにだんだんおまえは薄れて、もうおまえはおまえじゃない

やめろ。

……まな板に乗つては戻り、乗せられては逃げる。誰かがさばかれていても、ただ立ち尽くして見ているだけだ

黙れ。消え失せろ。

……もう、やめちまえよ。その服はもうお前のもじゃないし、そこはお前のいる場所じゃない

もとから俺は、そうだったのか？

……さあな

でもな、生憎まだやるべきことと、やりたいことがある。

……

頭が……痛い。脳が圧縮されているような感じだ。

やめろ！

やめろ……やめろ……！

やめろ！

やめ……

……。

（後書き）

どうも、蒼山でございます。

最近深夜の散歩にハマっております。

昼間は騒々しい通りでも、夜中になると静かになって、また違った一面を見ることができて楽しいです。

誰もいない道ぼつんと一台たっている自販機の蛍光灯の明かりを見たりすると、なんとなく切ないような、そんな感じがします。それが蒼山は好きなのです！！

……はい。もうワケがわかりませんね。そしてこの短編も全く意味が分かりません。

まあ蒼山が見た夢を脚色して文章におこしただけですからね。夢に脚色するからおかしくなるんでしょうね。

……やっぱ小説書くときにメタル聴くのはダメなんでしょうかねえ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7543d/>

ざわざわぷっつん

2010年11月24日16時05分発行